

JEMS  
米国内外宣教コンサルタント  
河野亮平師

牧会歴五十三年を迎える私は、この度神様の助けを頂き、アメリカ全土、日本、ブラジルで日本語を話す方々のために、米国内外宣教コンサルタントとして、主にお仕えすることになりました。

私は栃木県宇都宮市で生まれました。中学校三年生まで対人恐怖症で悩み、苦しみました。しかし、



しかし、主イエス様を信じ、罪赦されて、私の生涯は全く変わりました。この救いの喜びを人々に伝えたいと、高校時代に献身を決意し、日本クリスチャンカレッジ（現東京クリスト大学）で学び、卒業後神奈川県にある逗子福音教会に牧師として赴任しました。その後、北海道にある日本メソヂスト協議会中標クリスト教会で奉仕をしながら、愛光幼稚園、西別愛光幼稚園の園長として働きました。一九七二年に渡米、サウスベイフリーメソヂスト教会（現アンカー教会）の牧師をしながら

学校に学び、卒業後、サウスベイ教会に二十二年、その後ミッシェンバレーフリーメソヂスト教会で主に仕えました。また太平洋沿岸日系人フリーメソヂスト教団の日語部長補佐、副部長として教団のために働かせていただきました。

二〇〇六年、引退し、日本のグレース宣教会の東京千駄ヶ谷チャペルと大阪八尾チャペル（月一回の礼拝奉仕と聖書の学び会）、また、「日光オリブの里」でのチャプレンと牧会、また上野公園でホームレス伝道をしました。アメリカに帰国後は、ロサンゼルス合同教会の牧師となり、今年退きました。

日本では、幼稚園の園長、道東聖学院の教師、北米では北米聖書神学校に三年勤め、二〇一一年に太平洋国際神学校から神学博士号を与えられました。私の新たな出発に際し、皆様のご支援とお祈りのサポートをお願いいたします。またフアイナンシャル・サポートをお願いいたします。JEMSコンサルタントとなりますので、JEMSのウェブサイトにおいて、あるいはチェックをお送り頂けるなら感謝です。（メモ欄にRev. Kawano support とお書き下さい）皆様に神様の祝福を心からお祈りいたします。

【訃報】

山元ロイ耕一師

二〇一六年六月五日、天に召され、六月十二日にロサンゼルス合同教会にてメモリアルサービスが行われました。山元師は、一九八二年から一九九二年の十年間、JEMS世界宣教ミニストリーのディレクターとして働かれました。一九二三年満州の大連で生まれ、二十七歳の時、受洗。一九四九年十一月、ナナ夫人と結婚後は、お二人で主の働きをされていらつしやいました。ご家族の上に主からの慰めをお祈りいたします。

坂本真生ジン姉

二〇一六年八月六日、天に召され、九月十六日にロサンゼルスホーリネス教会にてメモリアルサービスが行われました。長年にわたる、母上の博子姉と共に、時報発送の奉仕に携わって下さいました。四十五年の地上生涯において、ジン姉は、主を愛し、隣人を愛し、誠実に主に仕えられました。博子姉を覚えてお祈り下さい。

【編集後記】

一〇〇度の暑さに亀の行進のようにノロノロ歩行するコンピューターにいらいら。それでも「わたしは神に信頼するゆえ、恐れることはありません」の詩篇五六篇のみ言葉が、詩篇三篇に呼応して蘇ります。西原黎子

【JEMS宣教師】

先の時報に証を掲載した大西邦嗣・スオン夫妻は娘の蒔音ちゃんと共に、九月中旬に日本に帰国しました。大西宣教師は日本での宣教場所を祈っていた時に「神の戸」と書く「神戸」を示されたそうです。日本での開拓伝道を主が守り導いて下さり、神の戸が大きく開かれるようにお祈り下さい。

JEMSで会計の仕事をしていた吉田伶央兄が九月下旬から同じく神戸で、JEMS宣教師のケビン・ウエストが働くマスターシードクリスチャン教会で働き始めました。働きを覚えサポートをお願いします。

【近況報告】

夏休みも終わりに近い頃、家族四人で、二泊三日でヨセミテ国立公園に行きました。子供二人は一〇年生と八年生となり、学校や教会でのアクティビティに参加する機会が増え、家では宿題をしていることが多く、家族で団欒をする時間をほとんど持つことができなくなりました。キャンプ場での火を囲んでの話は、マシユマロの焼き具合に終始していましたが、ゆったりと流れる時を持つことができたことを感謝しました。

JEMS日語部コーディネーター

藤本三奈子



